



カトリック中央協議会  
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2022年1月号（594号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・典礼委員会	2
・諸宗教部門	4
・カリタスジャパン	6
・部落差別人権委員会	9
・日本キリスト教連合会(日キ連)	10
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク	11
・中央協議会事務局（総務）	12

常任司教委員会

■11月定例常任司教委員会

日 時 2021年11月4日（木）10:00-12:00

場 所 マレラホール

出席者 委 員 7名

事務局 8名

報 告

1. カトリック中央協議会会報配布方法について

2010年10月の常任司教委員会で、カトリック中央協議会「会報」について2011年7月を目処にWeb化することが承認されて以来、紙面での配布を最小限にして対応してきたが、環境保護の観点から、少しでも資源節約に貢献することとし、2021年12月号をもって紙媒体を中止し、今後は必要に応じ

て、中央協議会ウェブサイトで「会報」を閲覧してもらうことが報告された。

## 審 議

1. 2021年度第2回臨時司教総会内容確認について  
12月9日に開催予定の2021年度第2回臨時司教総会の取り扱い事項を確認した。なお、議案の確定は、12月常任司教委員会で行う。
2. 第16回シノドスの司教協議会からの提出締め切り延期に伴う対応について  
第16回シノドス準備のための司教協議会としての回答書の提出期限が2022年4月末日から同年8月15日に延長されたことを受け、日本の教会としての準備日程を以下のように変更する。
  - 1) 教区からの意見提出締め切り 2022年2月28日(月) → 2022年6月4日(土)に変更
  - 2) 日本の教会としての提出文書検討のための2022年3月30日(水) 特別臨時司教総会は中止。提出文書は7月の臨時司教総会で検討する。
  - 3) 日本の教会としてのまとめの教皇庁への提出 2022年8月15日(月)
3. FABC50周年総会参加者について  
FABC50周年総会に司教協議会会長として参加予定であった高見三明大司教の会長職が2022年2月までとなるので、2022年10月9日-22日にバンコクで開催予定のFABC50周年総会参加者を一部変更し、司教協議会会長として菊地 功大司教が、同副会長として梅村昌弘司教が出席することを申し合わせ、12月の臨時司教総会で報告を行う。
4. 2022年度「司教の集い」の準備について  
2022年度「司教の集い」を2月定例司教総会中に開催することとし、内容は「ラウダート・シ」チームからの提案を深めることおよび公開講座にて教皇フランシスコ回勅“Fratelli tutti”を学ぶ。
5. 「教会現勢報告書」一部改訂について  
本常任司教委員会の諸意見をもとに一部修正を加えた「教会現勢報告書」の改訂とともに改訂に合わせた形で教区への通知書式を変更することおよび『司祭名簿』巻末の「教会現勢報告」の書式変更を承認した。
6. 中央協議会発行出版物の企画承認について
  - ① 出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。
    - 1) 書籍名 教皇フランシスコ講話集8  
内 容 教皇フランシスコの2020年講話集のペトロ文庫による出版
    - 2) 書籍名 JPブックレット vol.10 「わたしはだれの死をも喜ばない。お前たちは立ち帰って、生きよ (エゼキエル18・32) —カトリック教会と死刑廃止—」(仮)  
内 容 死刑廃止に関するブックレット
  - ② 『今こそ原発の廃止を—日本のカトリック教会の問いかけ』の仏語への翻訳について、出版審議会の提案の方向でフランスでの出版を進めることを承認した。

## 典礼委員会

### ■ 典礼音楽担当部門

日 時 2021年10月5日(火)14:00-6日(水)14:30  
場 所 暁星中・高等学校(東京・千代田区)  
出席者 4名

## 審 議

2022年11月27日(待降節第1主日)から実施される新しい「ミサの式次第と奉献文」とともに用いるミサ

の賛歌（ミサ曲）を検討した。

### ■『ミサ典礼書』改訂委員会

日 時 2021年10月28日(木)9:30-12:00

場 所 ウェブ会議

出席者 5名

#### 審 議

・聖人固有（7月～12月）の入祭唱・拝領唱の日本語訳を検討した。

### ■典礼音楽担当部門

日 時 2021年11月2日(火)14:00-3日(水)14:30

場 所 暁星中・高等学校(東京・千代田区)

出席者 4名

#### 審 議

2022年11月27日（待降節第1主日）から実施される新しい「ミサの式次第と奉献文」とともに用いるミサの賛歌（ミサ曲）を検討した。

### ■定例会議

日 時 2021年11月8日(月)10:00-14:40

場 所 ウェブ会議

出席者 11名

#### 報 告

##### 1. 新しい「ミサの式次第と奉献文」の周知にかんして

###### ①各教区説明会協力状況

来年の待降節第一主日より実施される新しい「ミサの式次第と奉献文」の実施に向けて、今秋より各教区の月修や司祭の集まりなどで説明会が企画され、現時点で当委員会に対して8教区、1団体より講師派遣の依頼が寄せられている。その日程と担当者を確認し、情報交換を行った。

なお、12月14日にはカトリック中央協議会にて、カトリック出版社に向けて会衆用式次第の発行のための説明会が行われる。

###### ②説明用ウェブサイト公開資料等について

カトリック中央協議会ウェブサイトに掲げられた「新しい『ミサの式次第と第一～第四奉献文』等の実施に向けて」に掲載している各種資料について確認を行った。今後も各共同体での準備ために必要な資料をダウンロードできるよう提供していく。

##### 2. 『教会の祈り』電子版画面上の表記法等について

『教会の祈り』電子版について、表示方法について若干の課題を検討した。今会合で出された意見をもとにさらに内容を整え、将来の公開に向けて準備を進める。

#### 審 議

##### 1. カトリック新聞への連載記事掲載について

本年11月よりカトリック新聞にて、新しい「ミサの式次第と奉献文」の実施に向けての周知を図るた

めの記事の定期掲載（月一回、委員による一年間のリレー形式）を開始する。初回は白浜委員長が執筆。今会合では第2回以降の内容と担当者の検討を行った。

2. 新式次第の実施に伴う他の儀式書の変更箇所およびその公表方法について  
新しい「ミサの式次第と奉献文」の実施に向けて、すでに発行されている儀式書との整合性等について確認を行った。今会合での意見と合意事項をもとに、順次、改訂作業を行う。

#### 意見交換

全国典礼担当者会議を振り返って

本年9月6日～7日に「新しい『ローマ・ミサ典礼書』の実施に向けて」とのテーマのもとにオンラインで開催された掲記会議について意見交換を行った。出された運営面での課題等は来年度以降に改善する予定。

#### 次回日程

定例会議 2022年1月17日（月）10:00～15:00 ウェブ会議

#### ■『ミサ典礼書』改訂委員会

日時 2021年11月22日（月）9:30～12:00

場所 ウェブ会議

出席者 5名

#### 審議

- ・聖人固有（9月～11月）の入祭唱・拝領唱の日本語訳を検討した。

## 諸宗教部門

#### ■第4回会議

日時 2021年10月29日（金）13:00～15:00

場所 カトリック麴町教会岐部ホール310号室

出席者 9名

欠席者 3名

#### 報告

1. 2021年8月31日会合での主な合意事項等を以下の通り確認した。
  - (1) ボツカルディ駐日教皇大使をお招きする勉強会についての進捗を報告し、当日のスケジュールを確認し、事前質問、委員プロフィールの作成に伴う工程等を確定した。
  - (2) シンポジウムについて、以下を確認および確定した。

日程：2021年11月27日（土）14時～17時 \*対面とズームのハイブリッド型  
会場：カトリック麴町 聖イグナチオ教会 ヨセフホール  
収容人数：十分なコロナ対策を備えたうえで40～50人程度（対面参加者）、加えてオンライン参加者を合わせる。

テーマ：「諸宗教の連帯による傷ついた世界への奉仕」  
内容：諸宗教から複数の講師をお招きし、文書『諸宗の連帯による傷ついた世界への奉仕』をそれぞれの宗教の立場から分かち合う。

講師:

<神道>

園田 稔(秩父神社宮司、京都大学名誉教授、世界宗教者平和会議役員)

<曹洞宗>

奈良 修一(久翠山 法清寺住職、『禅とキリスト教懇親会』メンバー)

<立正佼成会>

和田 恵久巳(理事・総務部国際宗教協力専任部長、世界宗教者平和会議役員)

<カトリック>

秋葉悦子(富山大学教授、教皇庁生命アカデミー理事)

懇親会: コロナ感染状況を考慮し茶話会とする。

その他: 前回の議事録資料をもとにプログラム概要について確認した。

2. ボッカルディ駐日教皇大使との勉強会について最終確認をした。
3. シンポジウムについての進捗
  - (1) 講師講演レジュメを共有した。
  - (2) YouTube でのライブ配信 について、中央協のテクニカルスタッフ 2名が担当し、講師との事前打ち合わせにも同席する。
  - (3) 茶話会についてはコロナ感染状況もあるので、講師のご無理のない範囲で可能であれば茶話会をもつこととする。

## 審 議

1. シンポジウムについて下記のとおり審議した。
  - (1) レイアウト案について
    - ・ 演台を設置し、第一部では演台で講演する。講演者以外の講師は会場最前列の席に座っていただく。
    - ・ 第二部においては、演台を隅によせて4人の講師が並ぶレイアウトとする。
    - ・ 会場を視察し、会場のイメージおよび換気方法等を確認した。
  - (2) 質問収集方法については状況を見て臨機応変に対応する。
  - (3) 当日の役割について確定した。
  - (4) PCIDからのメッセージについて、動画に邦訳テロップを加える。
  - (5) 当日スケジュール最終案を確定した。
  - (6) チラシデザインの最終修正案を確定した。

次回会議予定: 2022年1月(日程は未定)

## ■シンポジウム

日 時 2021年11月27日(土) 14:00-17:00

場 所 カトリック麹町教会(東京都千代田区)

出席者 約60名(YouTube聴講者数含まず)

本シンポジウムでは、世界教会協議会(WCC)と教皇庁諸宗教対話評議会(PCID)による共同発信文書『諸宗教の連帯による傷ついた世界への奉仕』(2020)の呼びかけをもとに、諸宗教から4名の講師を招き、ウィズコロナを生きるわたしたち一人ひとりが、宗教の垣根を越えて、互いに手を取り合い助け合える社会に向けて、それぞれの実践を踏まえた立場から学び、分かち合う機会をもった。

開会挨拶として、同評議会議長のミゲル・アンヘル・アユソ・ギクソット枢機卿がビデオメッセージを通じて、共同文書に込められている大切な視点を語った。

第一部において、藪田稔師(神道)は「振り向けば未来：物資文明から生命文明へ」をテーマに日本人がこれまで大切にしてきた「いのちを敬う心」を取り戻すことの重要性に焦点をあて、関わるすべての命の尊さについて発題された。奈良修一師(曹洞宗)は、長年の諸宗教活動を軸に「どのようにともに生きるか」を「ひとつの仏教的見方」より共有した。和田恵久巳師(立正佼成会)はシンポジウムテーマとなっている文書『諸宗教の連帯による傷ついた世界への奉仕』の重要点：「諸宗教の連帯」「対話」「省察」等と同教団の地域社会活動を照らし合わせながら、実践からの学びを分かち合った。秋葉悦子氏は、教皇庁生命アカデミーの取り組みを軸に発題され、すべての人々に公平な医療が届く必要性を訴え、また同分野における今後の諸宗教連帯の重要性についても語った。

第二部では、参加者からの質問をもとに質疑応答を行い、第一部の発題をさらに深く分かち合う機会となった。

最後に、「平和の祈り」を参加者とともに祈り、シンポジウムを閉会した。

## カリタスジャパン

### ■カリタスジャパン全国オンラインセミナー

日 時 2021年11月3日(祝:水)10:00-16:00

場 所 ウェブセミナー

参加者 申込者・各関係協力者・事務局を含め総勢75名

テーマ 「コロナ禍と私たち」—叫びの中からともに見出す希望—

内 容 第1部 「コロナ禍から見えてきた叫び」と題し、各教会管区から現状報告が行われた。

第2部 「叫びの中からともに見出す希望」と題し、パネリストによるトークセッションが行われた。

### ■第6回 啓発部会会議

日 時 2021年11月4日(木)13:00-15:00

場 所 ウェブ会議

出席者 10名

欠席者 2名

報 告

1. 事務局報告
2. 21世紀キリスト教社会福祉実践会議

議 題

1. 2022年度予算案について  
2022年度の活動方針に基づいて、カリタスジャパンの予算案を提出した。啓発部会予算案については、前回の提案どおり提出した。
2. カリタスジャパン全国セミナーについて  
11月3日に行われた全国セミナーの振り返りを行い、意見交換を行なった。
3. 国際カリタスキャンペーンに向けて  
国際カリタスキャンペーンの実施に向けて、意見交換を行なった。

次回会議日程：

第1回 2022年2月3日（木）10:00-12:00

第2回 2022年3月10日（木）10:00-12:00

## ■第5回 カリタスジャパン委員会・部会合同会議

日時 2021年11月11日(木)13:00-15:00

場所 ウェブ会議

参加者 22名

陪席者 2名

欠席者 1名

### 報告

#### 1. 事務局報告

主な活動内容と、国際カリタス管理基準の新基準である Safeguarding（安全保護基準）についての外部アセスメントの最終評価概要を報告した。

#### 2. 援助部会報告

#### 3. 援助申請案件についての審査状況、援助実績と分析等についての報告を行った。

#### 4. 啓発部会報告

本号「第6回啓発部会会議」を参照のこと。

#### 5. 教区担当者会報告

10月13日、全国教区担当者会議が実施され、四旬節大綱案の承認、四旬節キャンペーン、教区担当者と教区担当者会、教区担当者キット、委員改選等について確認し承認を得た。

#### 6. 2022年四旬節キャンペーン

キャンペーン資料を灰の水曜日の2週間前までに発送する予定で編集等開始した。

### 審議

#### 1. 2022年度予算案

日本カトリック司教協議会 2022年度活動方針ならびにカトリック中央協議会の予算編成方針に基づき作成されたカリタスジャパンの2022年度予算案が提出された。審議の結果、本予算案を承認した。

#### 2. ラウダート・シ ワーキンググループ (WG) について

ラウダート・シに関する活動は、全体で語り進めて行く方向性が事務局会議にて確認され、WGの解散を承認した。

#### 3. 遺贈募金の意向について

意向のない遺贈募金の使途について確認した。

その他、今年の活動について振り返り、分かち合いの時間を持った。

## ■第5回 教区担当者実行委員会

日時 2021年11月12日(金)13:00-15:00

場所 ウェブ会議

出席者 7名

### 報告

1. 教区担当者キットの内容と作成スケジュールについて確認した。

#### 審 議

1. 四旬節小冊子に掲載する写真、ならびに写真に添える聖句・メッセージの担当者を決定した。
2. 次号ニュースレターの発行時期について審議し、「復活祭号」とすることを確認した。

### ■第6回 援助審査会

日 時 2021年11月18日(木)9:30-12:30

場 所 ウェブ会議

出席者 5名

#### 報 告

1. 海外援助方針策定の進捗状況
2. カリタスメキシコからの援助申請内容

#### 審 議

海外案件3件、国内案件4件について審議し、全て継続審議となった。

### ■第7回 事務局会議

日 時 2021年11月18日(木)13:30-15:30

場 所 ウェブ会議

出席者 10名

#### 報 告

1. カリタスジャパン広報誌発刊報告  
クリスマス号としてアドベントツリー型の「We are Caritas」23号を作成した。

#### 協 議

1. 会議決議内容の確認  
11月11日に行われたカリタスジャパン委員会・部会合同会議の決議内容を確認した。
2. 2021年活動の振り返り  
中期戦略計画に基づき2021年に行われた各部会、担当者会、事務局の活動の振り返りを行った。
3. 2022年の活動計画の確認  
2022年に行われる各部会、担当者会、事務局の活動予定について確認した。
4. 国際カリタスキャンペーンについて  
12月13日のキャンペーン開始時の発表内容を事務局で検討し関係者に周知することを確認した。
5. カリタスジャパン委員会・部会合同会議について  
標記会議の日程・内容について協議し、以下の通り確認した。  
日時：2022年2月9日(水)午後 13:30-16:00  
内容：2021年度決算、国際カリタスキャンペーンの方向性等

次回日程 2022年1月18日(木)13:30-15:30



## 部落差別人権委員会

### ■第4回事務局会議

日 時 2021年7月30日(金)14:00-17:00  
場 所 ウェブ会議  
出席者 8名

#### 報 告

1. 新しく委嘱された委員、新しく事務局会議メンバーとなった委員が紹介された。
2. 2021年度第3回事務局会議(5月20日)
3. 2021年度「全国会議」(6月11日-12日)
4. 社会司教委員会事務局会議(6月30日)、定例会議(7月13日)

#### 審 議

1. 「ハンセン病問題冊子」  
臨時司教総会中に開かれた勉強会と同日の社会司教委員会定例会議における意見を踏まえて修正作業を行う。
2. 正義と平和全国集会大阪大会 分科会  
定例委員にファシリテーターなどを依頼し、打合せを行って具体的な内容を詰める。
3. 2021年度事業計画  
年内はほとんどの事業が実施のめどが立たない。  
状況を踏まえつつ一部の会議を対面とオンライン併用で行うことを検討する。
4. 2022年度事業計画(案)、2022年度予算案  
2021年度より若干状況が改善することを前提として事業計画、予算案を立てる。

### ■第3回定例委員会

日 時 2021年9月28日(火)14:00-17:00  
場 所 ウェブ会議  
出席者 13名

#### 報 告

1. 新しく委嘱された委員が紹介された。
2. 2021年度第2回定例委員会(4月12日)
3. 社会司教委員会事務局会議(6月30日)、定例会議(7月13日)、臨時会議(8月19日)
4. 2021年度「全国会議」(6月11日-12日)

#### 審 議

1. 「ハンセン病問題冊子」  
冊子案の編集状況が共有された。臨時司教総会中に開かれた勉強会、社会司教委員における意見を踏まえて修正作業を行っている。
2. 正義と平和全国集会大阪大会 分科会  
ハンセン病問題は人権問題であり、過去のことでなく自分も犯しうることではないか、同様のことが今も起きているのではないかと、伝えることを目指す。
3. 2021年度事業計画

年内はほとんどの事業が実施のめどが立たない。

状況を踏まえつつ一部の会議を対面とオンライン併用で行うことを検討する。

4. 2022年度事業計画（案）、2022年度予算案

- 基本的に2021年度の計画を踏まえて作成するが、状況を踏まえ合宿なども年一回の実施を計画する。また全国会議は開催日数、開催回数などを検討した。
- 上記の「事業計画（案）」をもとに予算案を作成した。

## 日本キリスト教連合会(日キ連)

### ■2021年度第2回常任委員会

日 時 2021年9月24日(金)10:00-12:00

会 場 ウェブ会議

出席者 7名

#### 報 告

1. 日本宗教連盟（日宗連）
  - 1) 国際平和デーのご案内
  - 2) 厚生年金加入状況調査の件
  - 3) 宗教法人の行う事業に関する調査の件
  - 4) 厚生労働省に「コロナ禍での葬儀について」申入れ
  - 5) 「WCRP 創立50周年記念式典・シンポジウム」の件
  - 6) 石橋秀雄牧師、長尾博吉牧師、文化庁長官表彰  
文化庁主催の宗教法人事務研修会は感染症拡大に伴い、全地域中止の方向
2. 東京都宗教連盟（都宗連）
  - 1) オリンピック担当（日本基督教団）「多宗教センター」設置の予定だったが、対面のミサ・礼拝は一切なく、自国のチャプレンを同行する国も多く、ニーズが無かった。
  - 2) 常任委員会（道家委員、赤井悠蔵氏、廣瀬委員）
3. 事務局  
特になし

#### 審 議

1. 2021年度の第45回法人事務・会計実部研修会について  
8月中にご案内発送完了、9月24日現在55名申込。100名をこえる場合を想定して準備中。  
当日の担当  
10月20日（水）  
廣瀬委員（開会の祈り）、矢木委員（講師紹介）、滝田委員（質疑応答）、道家委員（閉会の祈り）  
10月21日（木）  
森山委員（開会の祈り）、矢木委員（講師紹介）、矢萩委員（質疑応答）、本田委員（閉会の祈り）
2. 会報発行について  
8月中に完成し、送付済。矢木委員のお働きに感謝。  
10月の研修会報告の会報を作成予定。（矢木委員担当）
3. 参与退任願いについて  
鈴木重義師の退任願いを承認した。  
2022年総会での役員交代報告に向けて、各教派の顧問、参与について本人の意向を確認する。

4. 感染症対策ガイドラインについて  
日キ連が独自に作成するのは困難であることを確認した。  
日宗連のガイドラインを参考に各教派で対応することを確認した。
5. HP のサーバー、更新管理について  
長年にわたり矢木委員が担当。働きに感謝しつつ、多くのキリスト教関連団体や教会が使っている「工房ヒラム」に委託することを確認した。

次回日程

【2021 年度第 3 回常任委員会】2021 年 12 月 10 日（金）10:00-12:00 日本福音ルーテル教会事務局 (Zoom)

## 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

### ■事務局会議

日 時 2021 年 9 月 15 日 (水) 13:00-15:00  
場 所 ウェブ会議  
出席者 5 名

### 審 議

第 41 回日本カトリック正義と平和全国集会 2021 大阪大会について

当デスクが主催する分科会のテーマは「教会のハラスメントはなぜ起きつづけるのか—小さな気づきから大きな一歩へ」。発題は竹之下雅代委員。この分科会では、一般社会や教会の構造的な背景、無意識の加害、二次加害とは何か、身近な人が傷つけられたとき、周囲にいる私たちはどのように対応したら良いか、健全なコミュニケーションのあり方とは何か、について学び、分かち合う。「祈りの集い」の担当はウェイン司教。

### ■第 61 回定例会議

日 時 2021 年 9 月 22 日 (水) 13:00-16:00  
場 所 ウェブ会議  
出席者 13 名

### 報 告

第 41 回日本カトリック正義と平和全国集会 2021 大阪大会について

#### 第 6 分科会

テーマ：「教会内のハラスメントはなぜ起きつづけるのか—小さな気づきから大きな一歩へ」

日 時：11 月 22 日（月）・23 日（火）

発題者：竹之下雅代さん

祈りの集い：ウェイン・バーント司教

ファシリテーター：Sr. 古屋敷一葉、Sr. 蓮沼玲子

### 審 議

1. 「未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン」の意見交換
2. 2021 年度「全国教区担当者の集い」について  
テーマ：「未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン」

目的：教会が目指す方向性について確認し、現実を分かち合うこと。

日時：2021年10月25日（月）10:30-16:30

対象：教区担当者、対応委員

3. 2022年度事業計画について

4. その他

東京カトリック神学院特別コース(11月27日、1月19日)に竹之下雅代委員、中島幸子委員が講師として招かれている。

## ■事務局会議

日時 2021年10月20日(水)13:00-15:00

場所 ウェブ会議

出席者 6名

報告

1. 「未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン」一部修正について
2. 2022年度予算案提出について
3. 第41回日本カトリック正義と平和全国集会 2021大阪大会について

審議

1. 「未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン」について
2. 「全国教区担当者の集い」について

## 中央協議会事務局

### ■総務

#### 1月会議予定

13日(水)	常任司教委員会	日本カトリック会館
13日(木)	難民移住移動者委員会 担当者・ ネットワーク情報交換会(ウェブ会議)	〃
13日(木)	難民移住移動者委員会 事務局会議(ウェブ会議)	〃
14日(金)	正義と平和協議会定例委員会(ウェブ会議)	〃
17日(金)	典礼委員会定例会議(ウェブ会議)	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2022年1月号 (通巻594号)

発行日 2022年1月10日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457

発行責任者 森山信三 編集 広報課